

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,547	0.4	530	60.7	578	52.9	338	124.6
21年3月期第2四半期	8,578		330		378		150	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.89	
21年3月期第2四半期	2.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,015	14,211	71.0	205.32
21年3月期	19,519	13,845	70.9	200.03

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 14,211百万円 21年3月期 13,845百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		3.00		3.25	6.25
22年3月期		1.50			
22年3月期 (予想)				2.00	3.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.6	750	9.7	800	11.4	350		5.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	69,774,401株	21年3月期	69,774,401株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	558,558株	21年3月期	557,642株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	69,216,323株	21年3月期第2四半期	69,452,645株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
業績予想に関する項目については、添付資料の4ページを参照してください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策による経済効果への期待や海外の経済環境の改善から景気悪化の底入れの兆しが見え始めたものの、世界的な金融危機の影響により、企業業績は低迷したまま引き続き厳しい状況で推移しました。

食品業界におきましても、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の減少などにより個人消費が低迷するなかで、低価格志向が進んでおり、企業間の販売競争は一層激化しました。

このような状況の下、当社グループは、お客様に支持される「安全・安心・信頼」の商品づくりに最優先に取り組んでまいりました。8月に食品添加物を加えていない商品として「ブルドック スーパープレミアムソース極 200ml」「ブルドック フライソーストマト・ペッパー 170ml」「ブルドック 煮込みハンバーグデミソース チューブ300g」の新商品を発売、同じく「ブルドック かけるデミグラスソース チューブ300g」をリニューアル発売し、商品のおいしさや「安全・安心・信頼」できる「自然でシンプル」な品質を訴求し、需要の拡大に努めました。

また、食品流通店舗様の店頭での試食実演による販売促進活動を積極的に展開し、ソース市場の活性化を図る一方、7月より引き続き「第7回親子料理教室ブルドックヘルシーソースクッキング」を東京、大阪、仙台の各都市で開催し、ソースの用途拡大や需要喚起を行い販売の増大を図ってまいりました。

さらに、中国市場においてソース事業の展開を図ることを目的として、平成21年7月6日に中国現地法人「富留得客(北京)商貿有限公司」を設立いたしました。

また、当社グループは、事業全般にわたる徹底した合理化を推進し、社員の生産性の向上に取り組み、競争力のある企業グループをめざしてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比3千万円減の85億4千7百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は、対前年同期比2億円増の5億3千万円(前年同期比60.7%増)、経常利益は、対前年同期比2億円増の5億7千8百万円(前年同期比52.9%増)、四半期純利益は、対前年同期比1億8千7百万円増の3億3千8百万円(前年同期比124.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千5百万円増加し、200億1千5百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が2億8千9百万円増加し、固定資産では、投資有価証券が4億8百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億2千9百万円増加し、58億3百万円となりました。増減の主なものは、流動負債では、未払費用などの減少があったものの、未払法人税等が1億6千9百万円増加し、固定負債では、退職給付引当金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億6千6百万円増加し、142億1千1百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものです。これにより自己資本比率は、71.0%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億8千9百万円増加し、16億9千1百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億5千4百万円の収入(前年同期は、4億2百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益5億2千5百万円及び減価償却費2億2千6百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億3千9百万円の支出(前年同期は、1億3千7百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億3千9百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億2千4百万円の支出(前年同期は、4億7千6百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額2億2千4百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成21年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、平成21年7月24日に開示しましたとおり、海外市場の可能性について検討しておりましたが、平成21年7月6日有望な市場として中国に現地法人富留得客(北京)商貿有限公司を設立し、新たな事業展開を進めておりますが、当期業績に与える影響は軽微であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,691	1,401
受取手形及び売掛金	4,238	4,282
商品及び製品	359	372
原材料及び貯蔵品	92	126
仕掛品	21	19
繰延税金資産	274	274
その他	84	62
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	6,762	6,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,361	2,438
機械装置及び運搬具(純額)	945	906
土地	2,711	2,710
建設仮勘定	22	18
その他(純額)	86	78
有形固定資産合計	6,128	6,152
無形固定資産	97	105
投資その他の資産		
投資有価証券	5,860	5,451
繰延税金資産	764	932
その他	486	422
貸倒引当金	84	83
投資その他の資産合計	7,027	6,723
固定資産合計	13,252	12,981
資産合計	20,015	19,519

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,627	1,670
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	136	82
未払費用	877	973
未払法人税等	190	20
賞与引当金	230	208
その他	49	55
流動負債合計	3,312	3,210
固定負債		
長期借入金	1,600	1,600
退職給付引当金	700	675
長期未払金	173	173
その他	17	14
固定負債合計	2,490	2,463
負債合計	5,803	5,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	10,769	10,655
自己株式	393	393
株主資本合計	13,984	13,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	226	26
評価・換算差額等合計	226	26
純資産合計	14,211	13,845
負債純資産合計	20,015	19,519

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,578	8,547
売上原価	4,301	4,130
売上総利益	4,276	4,417
販売費及び一般管理費	3,946	3,887
営業利益	330	530
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	77
その他	6	3
営業外収益合計	85	81
営業外費用		
支払利息	21	18
減価償却費	14	13
その他	1	1
営業外費用合計	37	33
経常利益	378	578
特別利益		
過年度損益修正益	-	6
その他	-	0
特別利益合計	-	6
特別損失		
固定資産除却損	18	5
投資有価証券評価損	7	51
退職特別加算金	44	-
保険解約損	14	-
減損損失	-	1
その他	12	0
特別損失合計	98	59
税金等調整前四半期純利益	279	525
法人税、住民税及び事業税	128	186
法人税等合計	128	186
四半期純利益	150	338

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	279	525
減価償却費	241	226
減損損失	-	1
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(は減少)	239	21
退職給付引当金の増減額(は減少)	58	24
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	372	-
受取利息及び受取配当金	78	78
支払利息	21	18
固定資産除売却損益(は益)	18	5
投資有価証券評価損益(は益)	7	51
売上債権の増減額(は増加)	101	43
たな卸資産の増減額(は増加)	15	43
仕入債務の増減額(は減少)	51	42
未払金の増減額(は減少)	2	4
未払費用の増減額(は減少)	241	81
長期未払金の増減額(は減少)	174	-
その他	1	31
小計	367	724
利息及び配当金の受取額	78	78
利息の支払額	34	32
法人税等の支払額	19	26
法人税等の還付額	9	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	402	754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	142	139
投資有価証券の取得による支出	126	37
保険積立金の解約による収入	131	-
関係会社出資金の払込による支出	-	50
その他	0	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	137	239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	250	-
自己株式の取得による支出	0	0
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	226	224
財務活動によるキャッシュ・フロー	476	224
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	211	289
現金及び現金同等物の期首残高	1,751	1,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,540	1,691

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるソース類製造販売事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。